

Architects' style

建築士 こおりやま

No.65 令和3年2月発行

令和2年度 違反建築防止週間

違反建築防止週間は、建築物の質の向上及び良好な市街地の形成等に役立てるため、昭和47年から毎年10月中旬に全国一斉に実施しています。

令和2年度の違反建築防止週間の実施期間は、10月15日（木）から21日（水）でした。

郡山市ではこの期間に合わせて15日（木）公開建築パトロールを実施しました。本会では会員2名を派遣し、郡山市開発建築指導課職員2名と合同で行いました。パトロールの内容は、建設工事現場において適正に工事及び監理が行われているか調査するとともに、建築確認等の手続きがなされているか確認を行いました。

秋山技査、岸技査、帆刈、清の4名1組で郡山市内を巡回し、20件の調査を行いました。コロナの影響が判然としませんが、例年の未着工は調査件数の10%程度のところ、本年度は、25%と15%多い結果でした。

出発式は午前9時より市役所別棟第7会議室で行われました。

出席者は郡山市役所開発建築指導課より力丸課長、草野課長補佐、和泉主任技査兼建築指導係長、小林技査、佐藤技査、秋山技査、岸技査、建築士会郡山支部より帆刈青年委員会委員長、清青年委員会副委員長でした。パトロールにおけるコロナ対策について、保健所確認事項1. 出発前に検温する。2. マスクを着用。3. 手などを除菌液で消毒。4. 走行中は窓を開ける。5. 大声での会話は控える。6. 現場から戻ったら、うがい・手洗いをを行う。

違反建築防止週間のPRとしてポケットティッシュを配布する為、郡山市役所様、ふくしま建築住宅センター様、建築検査機構様、日建学院様、総合資格学院様に設置のご協力をいただきました。



お菓子の家づくり

生活の基本である「住」を「お菓子の家づくり」を通して、親子で体験し、子供達が自ら考え創意工夫することにより、建築の楽しさを知ってもらいたいという思いから、MOLTI（郡山駅前ビッグアイ）1階特設ブースにて令和2年11月21日から23日までの3日間、総勢で親子参加32組76名（内子供44名）、建築士会参加10名で開催しました。

参加については事前予約制でしたが、予定していた開催枠は全て埋まりました。

今回のイベントの告知方法としては、紙媒体の広告に加えて「SNS」を活用しており、その結果、来場者にアンケートしたところ、6割程度がSNSにて開催を知ったとの回答でした。

若者を中心としてSNSの利用が広く普及していると話には聞いていましたが、実際には10代～20代だけでなく、30代～40代（小学生の子供がいるくらいの年齢層）も活用しており、SNSが世の中に広く普及しているのを感じました。

「お菓子の家づくり」ですが、決められたお菓子の中で、子供達の自由に家をつくってもらいますが、単につくってもらうのではなく、実際の建築業務の流れに沿った内容となっています。

まず子供達に住宅のイラスト（図面）を書いてもらい、建築士会メンバーが役所担当となり確認申請を受け付け、内容を確認し問題なければ確認済証を出し、それからようやくお菓子の家づくりが始まります。

そして、無事におかしの家をつくり終えた後にも、役所担当メンバーによる完了検査があり、そこで問題がなければ検査済証と「おかしの家建築士免許証」を渡して終わりとなります。

楽しみながら建築士の実際の業務の流れに近い内容で、職業体験をしてもらいます。

おかしの家をつくっている最中（工事中）子供達はとても真剣に取り組んでいる姿が印象的だったのと保護者の方の中には、子供との共同作業にも関わらず、子供達よりも集中して取り組んでいる方もいました。

コロナ禍の中ですが、帰り際にまた参加したいとの声も多数頂き、喜んでいる子供達の姿も見られ、イベントを開催できたことに意味があったと感じました。



女性委員会の活動 【建材の吸水実験】について

《目的》

近年の気象傾向は、集中豪雨や線状降水帯といった現象が頻繁に発生し、浸水被害が後を絶たない状況です。災害後の生活再建には住宅の復旧補修が伴います。濡れた家をそのまま放置したり、表面が乾いていても内部は水が抜けきれず十分に乾燥しないまま仕上げ材を貼ってしまい、後からカビや悪臭が発生したり、長期的には白蟻被害の原因となり、生活に支障が出たり健康被害が出る場合があります。

そこで女性委員会では、異なる壁の構成による試験体を製作し【建材の吸水実験】を行い、どの程度水を吸い上げるのか、又、時間経過による乾燥で質量や含水率がどのように変化していくのか、カビの発生はどうかなど、一年間を通して観察を行う事としました。

《実験の流れ》

7/23試験体の大きさを決める為、グラスウールを色水に6時間浸水させ、吸い上げ高さの測定『仮実験』を行いました。次に、8/20建材の収集、9/19中央公民館の工作室に於いて『試験体製作』を行いました。試験体の大きさは、間柱の幅455mm、高さは400mmとし、構成は、下記の通り下地材と断熱材の組み合わせ6種類を製作しました。又、樹種の異なる2種類の柱と、大引についても実験を行う事としました。

- ①高性能グラスウール + 普通石膏ボードt=12.5
- ②高性能グラスウール + 強化石膏ボードt=12.5
- ③高性能グラスウール + 耐水石膏ボードt=12.5
- ④ポリエチレンフォーム + 普通石膏ボードt=12.5
- ⑤硬質ウレタンフォーム + 普通石膏ボードt=12.5
- ⑥発砲ウレタンタイプ + 普通石膏ボードt=12.5

柱：杉・桧：105mm角、大引：米ヒバ：90mm角

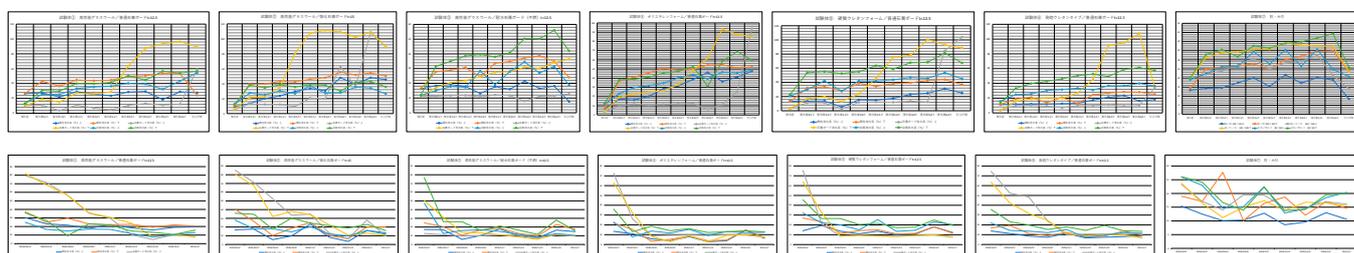
10/10中央公民館の工作室に於いて、『試験体の浸水実験』を行いました。浸水後6時間まで、30分毎に試験体を構成する、間柱・ボード・合板の浸水ライン上下における含水率と、質量を測定。含水量の測定には「木材含水率計」を用いて確認しました。

《浸水実験の結果》

含水率については、浸水30分である程度吸水した後は緩やかに伸び、浸水3時間から急激に伸び、6時間で約100%に達した。ただし③は緩やかに上昇し約56%であった。

質量については、浸水30分で増加し、6時間で④⑤⑥は浸水前の0.65~0.7kgの増加に対し、高性能グラスウールの構成では①②は2.05~2.1kgの増加、③は1.7kgの増加であった。又、柱の質量の変化は、米ヒバ0.05kg、杉0.10kg、桧0.15kgの増加であった。

引き上げ後は、場所を移し経過観察を行い、二ヵ月間は一週間毎、三ヶ月目からは月一回、浸水から一年間の測定データを取り、考察し報告書をまとめる予定で活動しています。又、日本大学工学部 建築学科 RC構造・材料研究室の協力を得て、建材単体のカビの発生についても実験を行う予定です。



郡山支部 会員親善ゴルフ大会

令和2年10月27日 晴天の中、郡山熱海カントリークラブで15名にて会員親善ゴルフ大会が行われました。コロナ禍ではありますが、例年並の参加人数に感謝しております。

結果は優勝 渡邊力さん、準優勝 金田岩光さん、3位 鈴木功一さんでした。

令和3年度の開催時にはコロナの収束を願い、例年以上の参加人数になることを期待します。

今回参加の皆様お疲れさまでした。また、ありがとうございました。



忘年会

去る12月5日土曜日、ビューホテルアネックスにて忘年会が開催されました。

当日は感染防止対策の為、全員マスク着用にて出席し、料理も1人前ずつ皿に盛られたものが運ばれてくる形式となりました。

司会者席には透明の亚克力板が設置され、壇上で話す時もマスク着用、同じテーブルの人と話すのにも気を使いながら…と、何だか味気ない。

早くマスク無しで談笑できる忘年会が開催できる事を願ってやみません。



編集後記

2021年1月、初の感染確認から1年経ったが未だコロナの猛威は衰えない。

今回は私が広報委員会に参画させて頂いて以来初となる、「集まらない編集会議」となった。感染拡大防止のあらゆる手法に慣れてはきたものの、「集まる」事には神経を使う。

幸いメンバー全員がLINEのグループに参加してくれた為、連絡のやり取りはLINEのみで進行している。そんな訳で「集まらない編集会議」が

実現した。

4月からは令和3年度がスタートするが、その時には「従来行っていたイベントをリモートで開催した」と言うような新しいニュースがお届けできる事を夢に見つつ、SNSを上手に活用しながら情報と連絡は「密」に、今後も活動して行きたい。

福島県建築士会郡山支部

郡山市大町一丁目2番23号KIK'ビルW22(西2階) TEL & FAX 935-2151
URL : <http://kenchikushi-koriyama.com/>
Mail : info@kenchikushi-koriyama.com